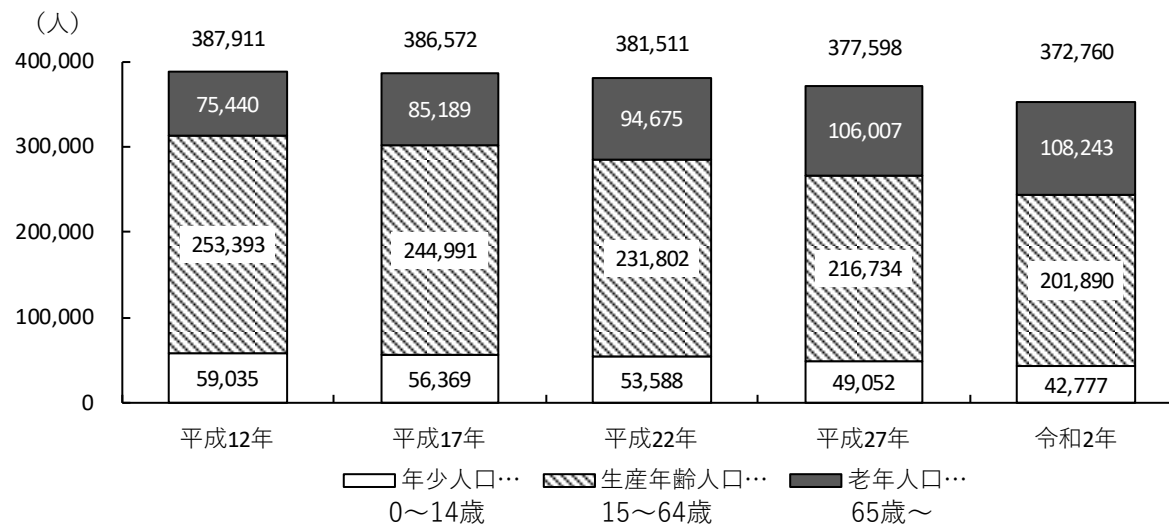


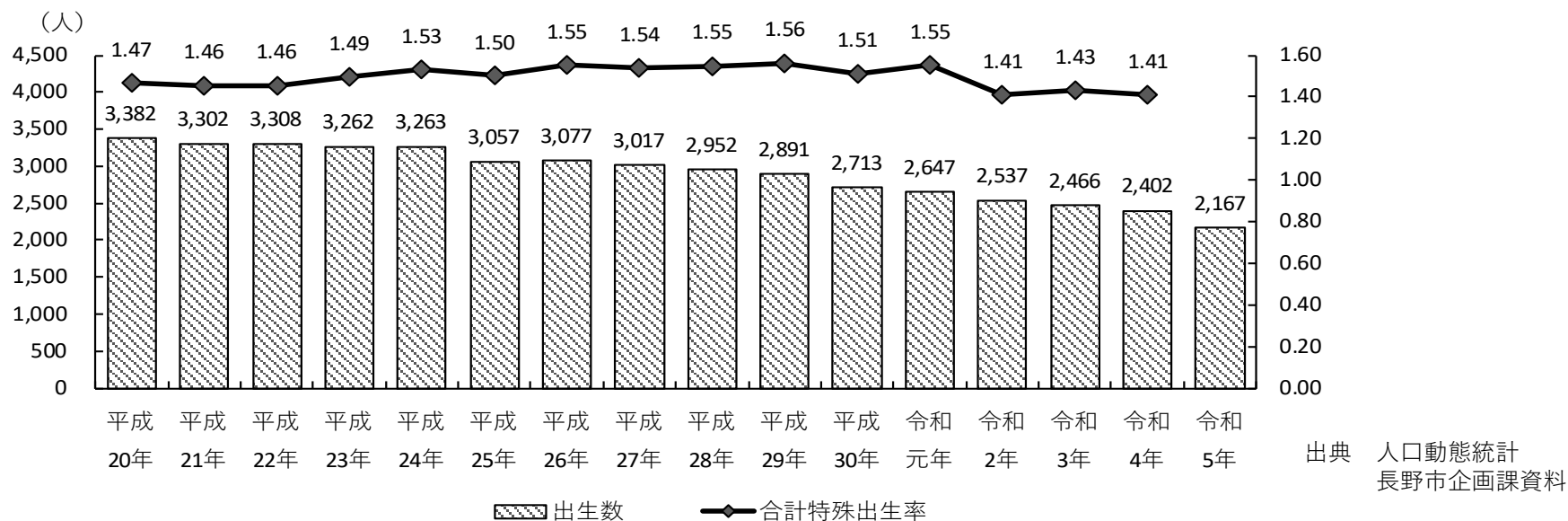
長野市の子どもを取り巻く状況

こども未来部 こども政策課

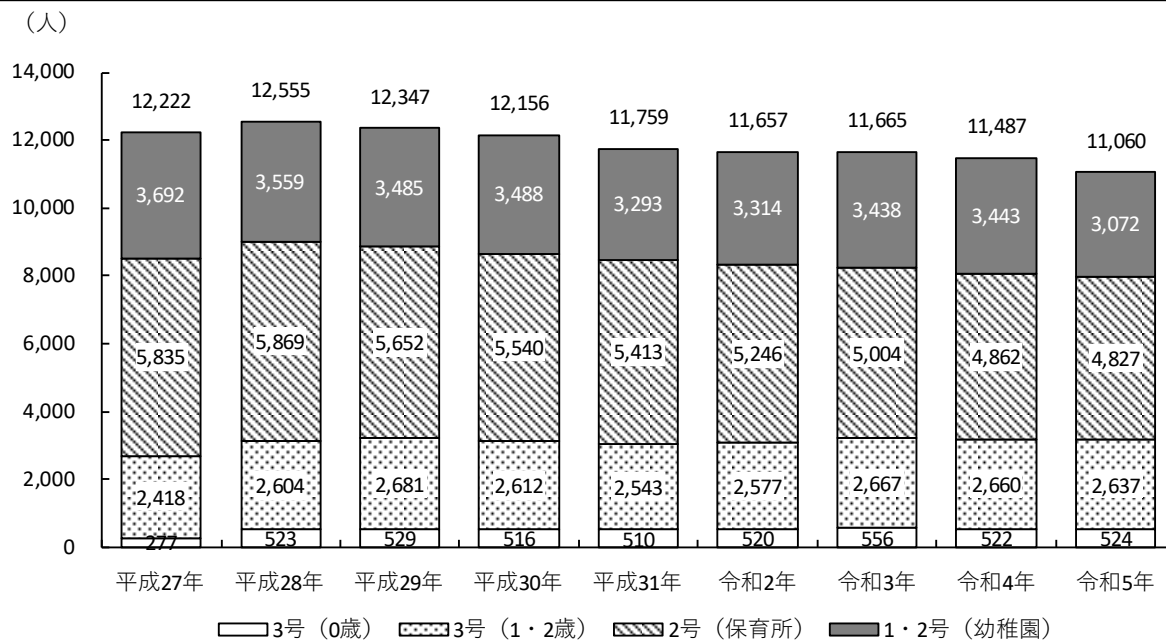
年齢3区分別人口の推移



出生数及び合計特殊出生率の推移

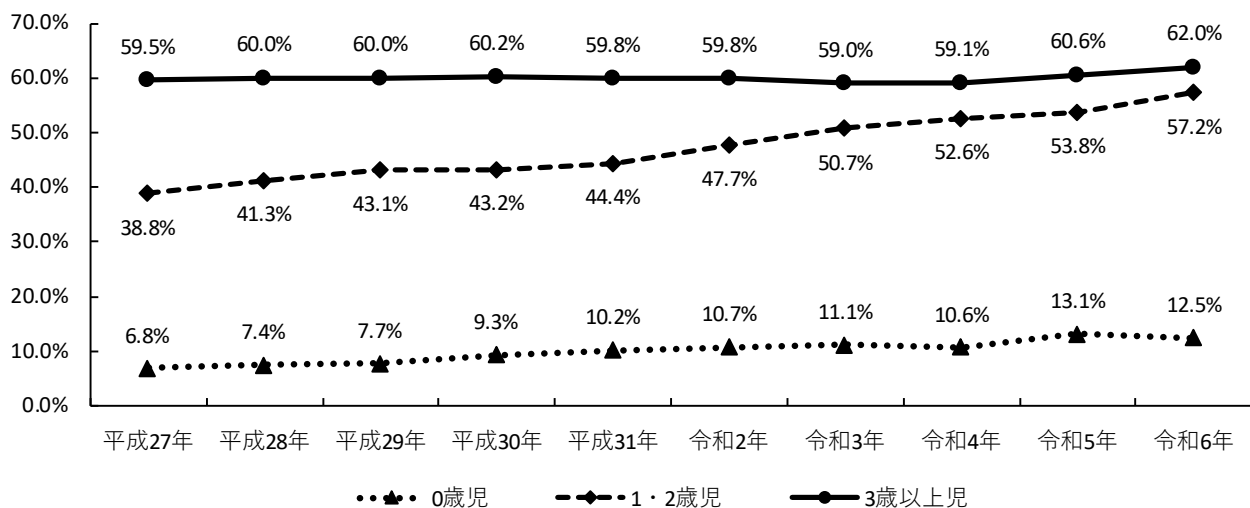


保育所・幼稚園の利用者数の推移



出典 長野市保育・幼稚園課

保育所申込率の推移



出典 長野市保育・幼稚園課

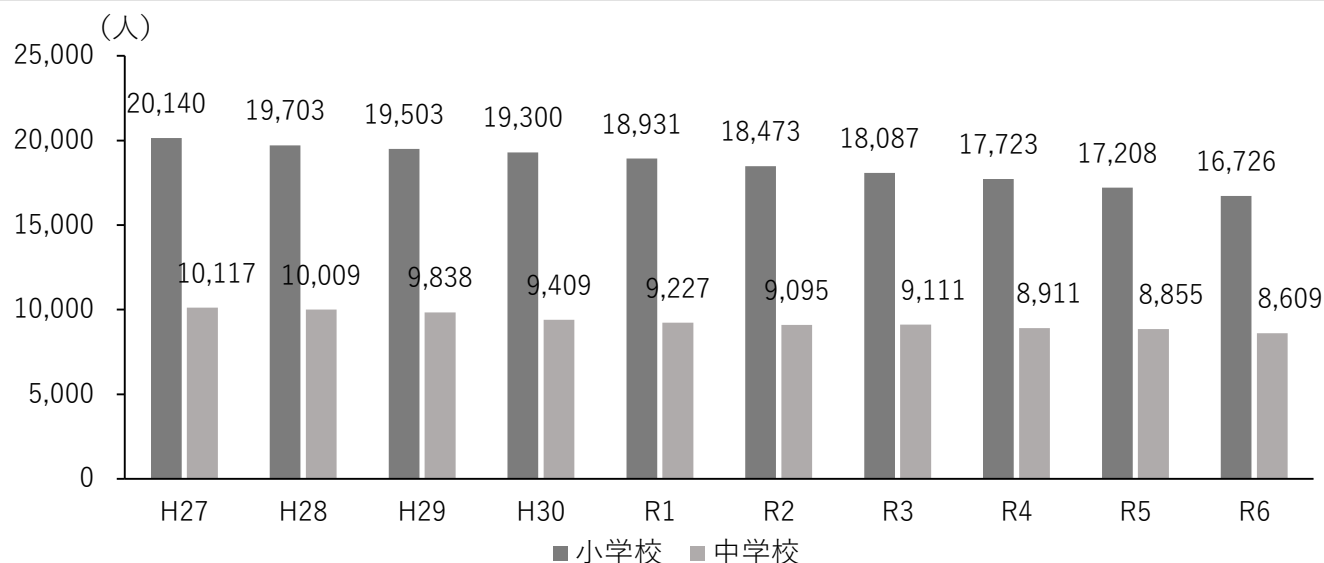
学校数及び児童・生徒数（国立・県立・市立・私立）

	学校数	児童・生徒数
小学校	59	18,398
中学校	30	9,978
高等学校	19	9,544
（全日制）	18	9,355
（定時制）	1(4)	189
通信制高等学校	1(2)	844
特別支援学校	5	416

令和4年5月1日現在
出典 長野市統計書（一部抜粋）

（注）（ ）内の数値は、高等学校の全日制を併設する学校数

市立小中学校の児童・生徒数の推移



各年度5月1日現在
出典 令和6年度教育要覧
（長野市教育委員会）

長野市放課後子ども総合プラン実施施設数・登録児童数

施設数

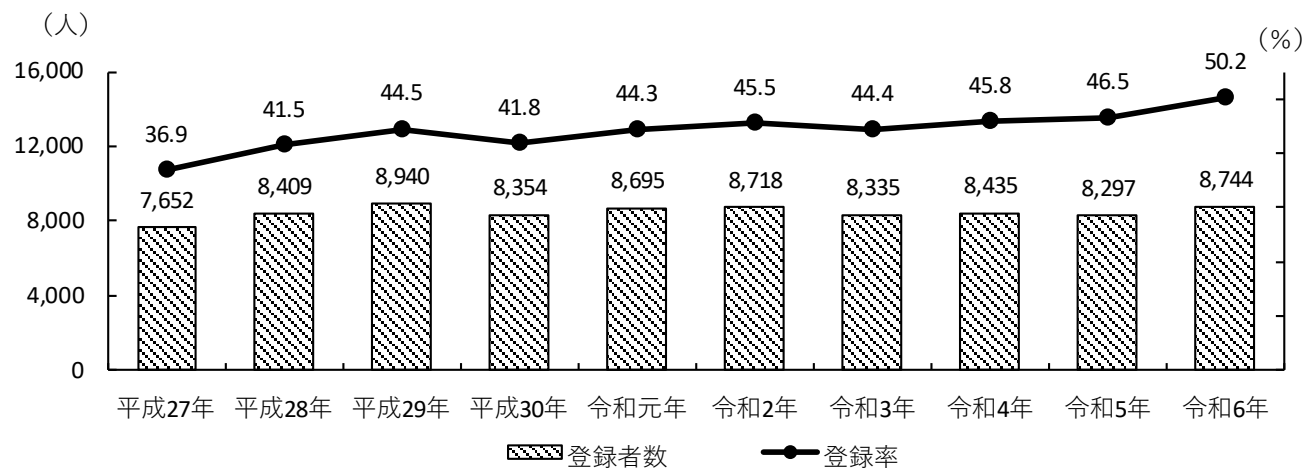
	R6
児童館・センター	32
子どもプラザ（学校内）	49
児童クラブ（民設施設）	2
計	84

登録者数

学年	R6
1年生	1,938
2年生	2,011
3年生	1,779
4年生	1,497
5年生	952
6年生	567
計	8,744

令和6年5月1日現在
出典 こども政策課

長野市放課後子ども総合プラン登録者数・率の推移

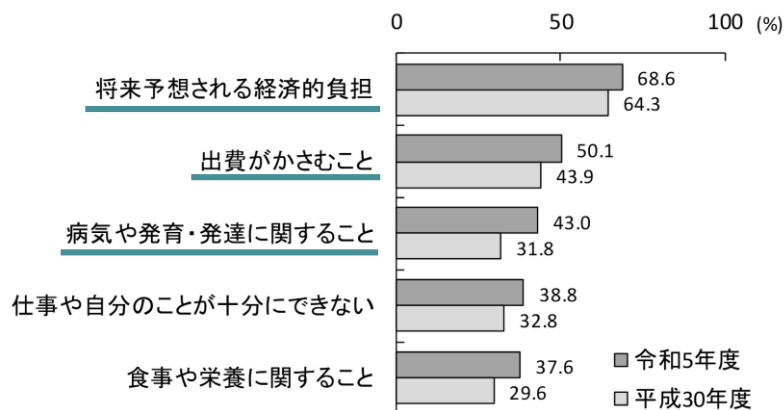


各年度5月1日現在
出典 こども政策課

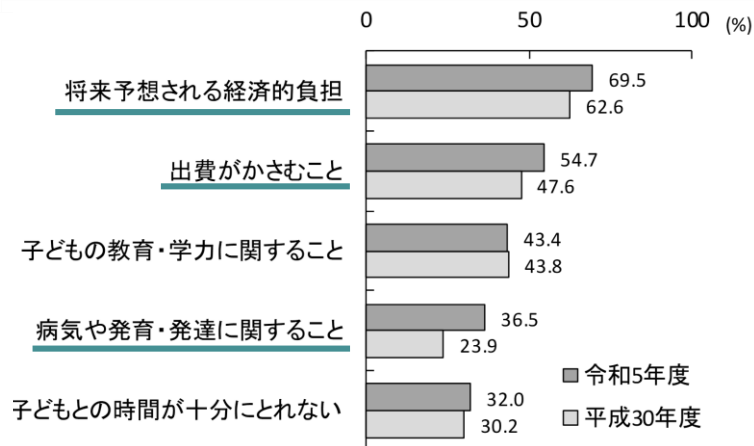
家庭における子育ての状況①

■子育ての悩みや不安【上位5項目】

【就学前児童保護者】



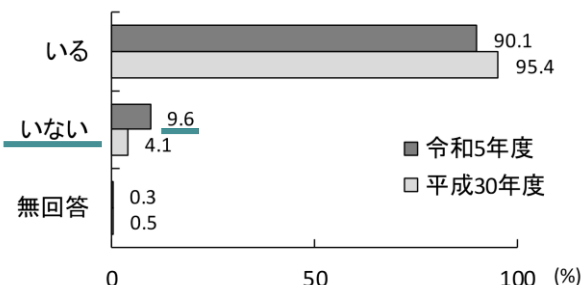
【小学生保護者】



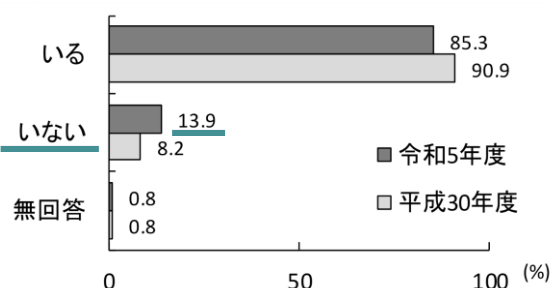
- ・保護者の悩みや不安は、就学前児童保護者、小学生保護者とも「将来予想される経済的負担」、「出費がかさむこと」が前回(H30)と同様に上位
- ・就学前児童保護者、小学生保護者とも「病気や発育・発達に関すること」が10ポイント以上増加

■子育てをする上で、気軽に相談できる相手の有無

【就学前児童保護者】



【小学生保護者】

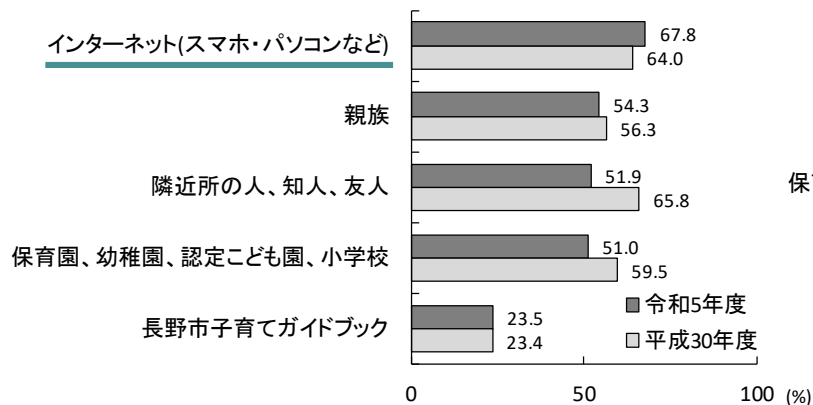


- ・気軽に相談できる相手がいない人は、就学前児童保護者で9.6%、小学生保護者で13.9%で、前回(H30)と比べていずれも増加

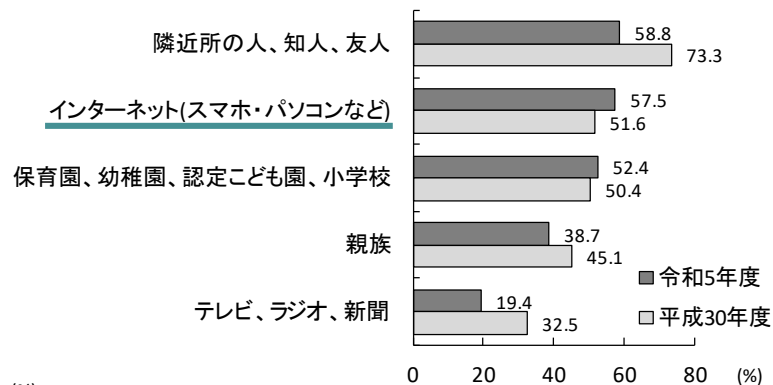
家庭における子育ての状況②

■子育てに関する情報の主な入手先【上位5項目】

【就学前児童保護者】



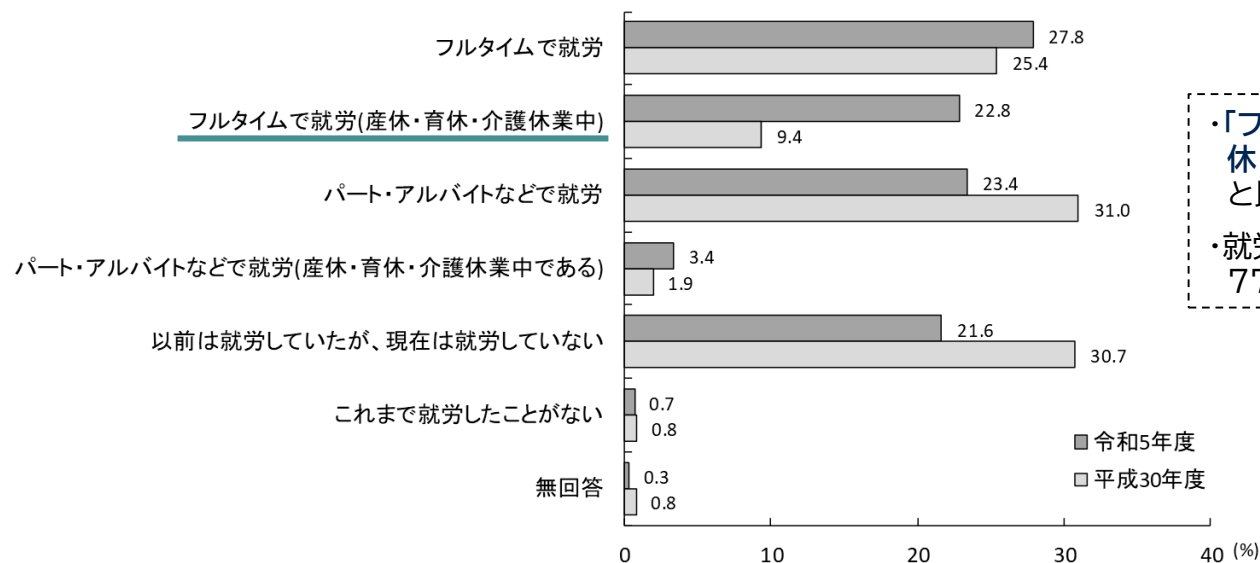
【小学生保護者】



・就学前児童保護者、小学生保護者ともに、前回(H30)と比べて「インターネット(スマホ・パソコンなど)」の割合が増加し、「隣近所の人、知人、友人」「親族」の割合が減少

職域における子育て支援

■母親の就労状況(就学前児童保護者)

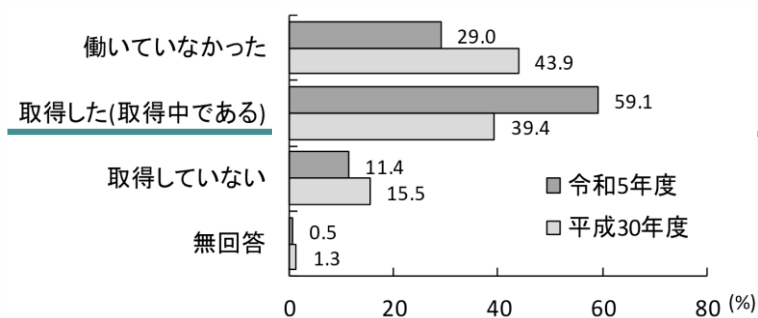


・「フルタイム、フルタイムで就労(産休・育休・介護休業中)」の割合が前回(H30)と比べて増加

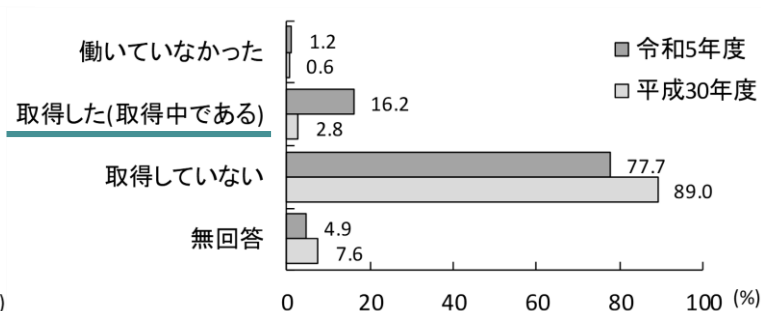
・就労している割合は、67.7%から77.4%に増加

■育児休業の状況(就学前児童保護者)

【母親】



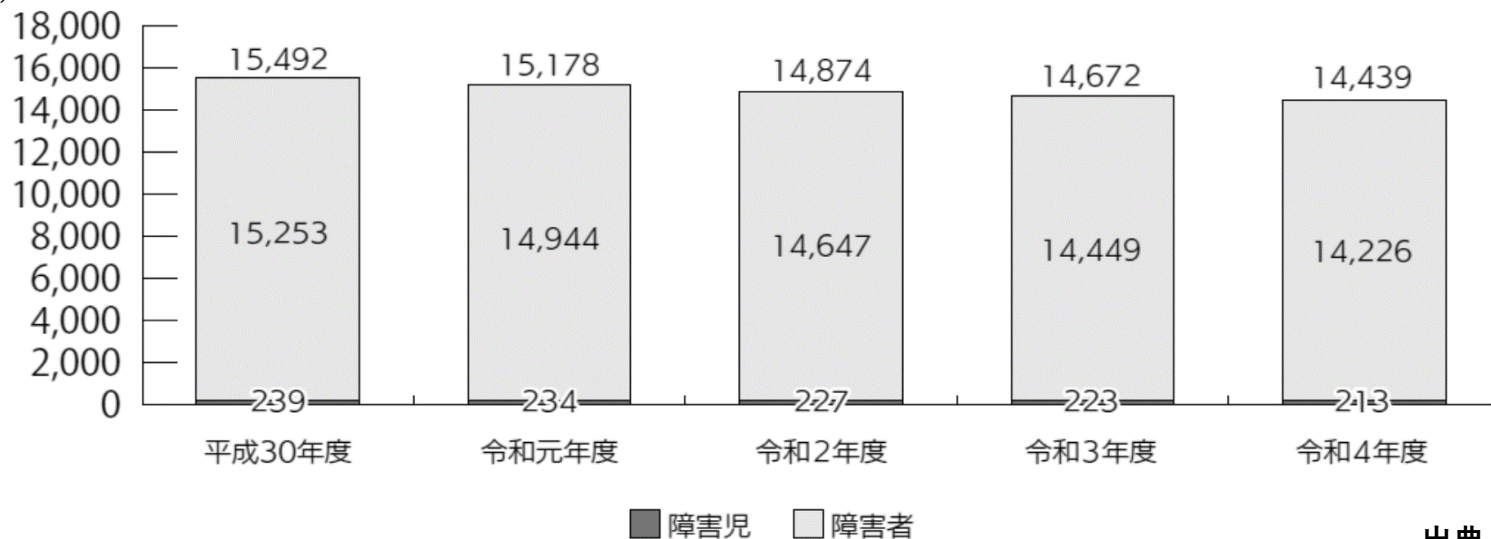
【父親】



・母親、父親ともに「取得した(取得中である)」の割合が前回調査(H30)と比べて増加

身体障害者手帳所持者数の推移

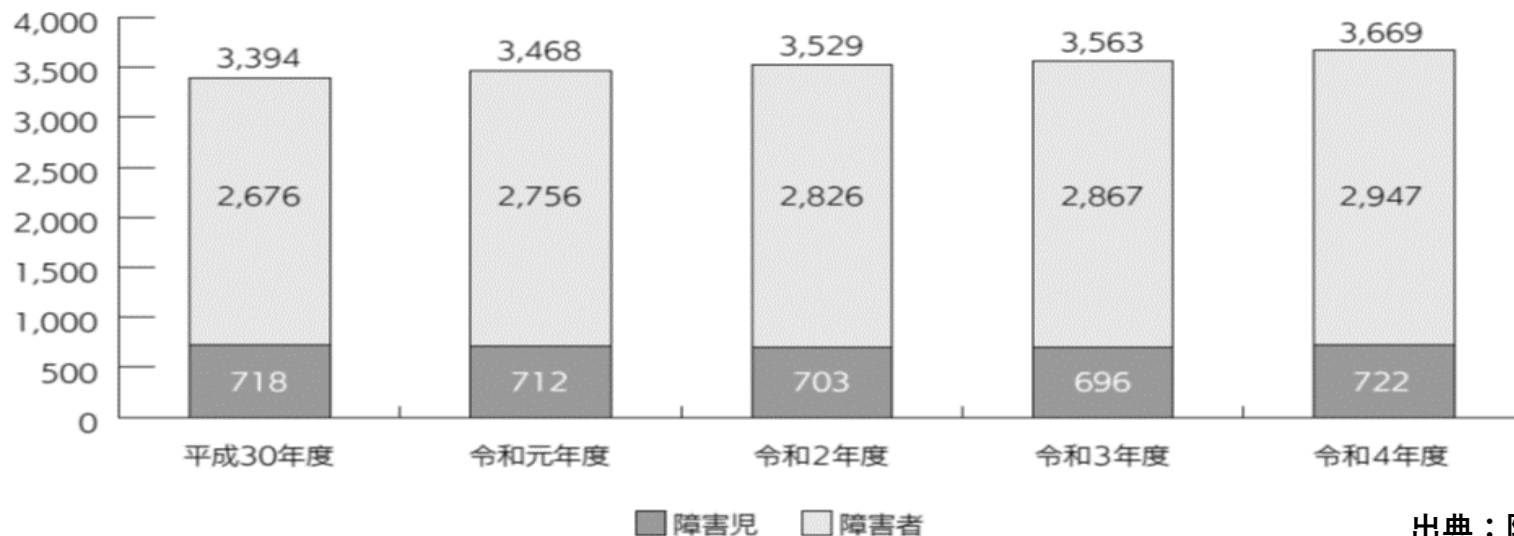
(人)



出典：障害福祉課

療育手帳所持者（知的障害者）の推移

(人)



出典：障害福祉課

発達障害児数の推移

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
学習障害	小学校	36	42	28	27	35
	中学校	32	39	37	36	33
注意欠陥多動性障害 (ADHD)	小学校	151	153	135	126	113
	中学校	123	119	90	83	94
自閉症スペクトラム障害 (ASD)	小学校	452	472	430	442	435
	中学校	239	256	238	241	246
その他（反抗挑戦性障害 (ODD) など）	小学校	0	2	161	134	153
	中学校	2	2	108	132	146
小学校計		639	669	754	729	736
中学校計		396	416	473	492	519
合 計		1,035	1,085	1,227	1,221	1,255
対全体比（全児童生徒と比較）		3.61%	3.85%	4.45%	4.49%	4.71%

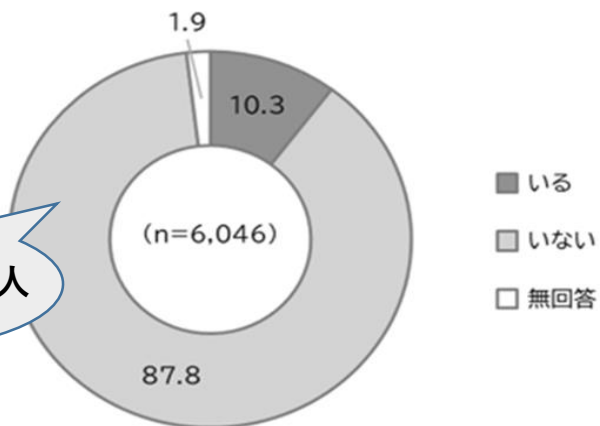
(人)

※「複数の発達障害」がある児童・生徒数は、令和2年度以降「その他」に計上。

出典：障害福祉課

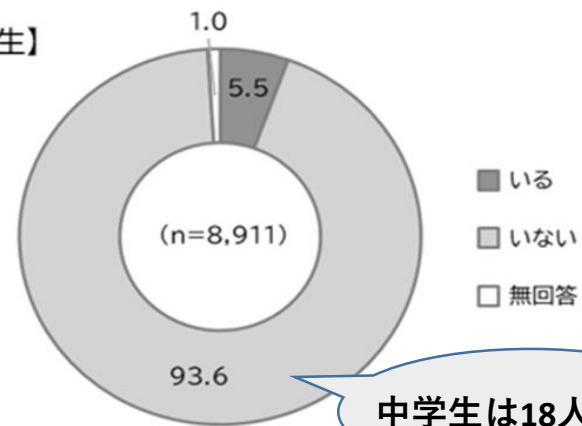
【ヤングケアラー】ケアをしている人の有無とその家族

【小学生】



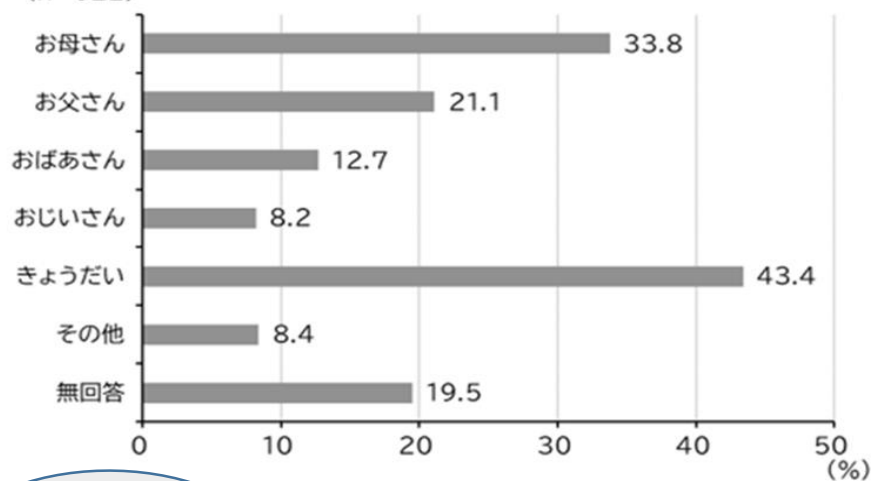
小学生は10人に1人

【中学生】



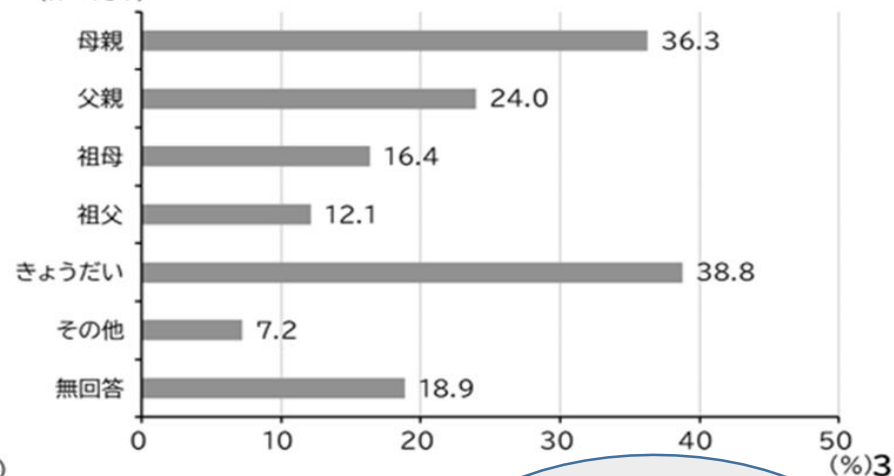
中学生は18人に1人

(n=622)



高齢の家族のケアを行っている事もわかります

(n=487)

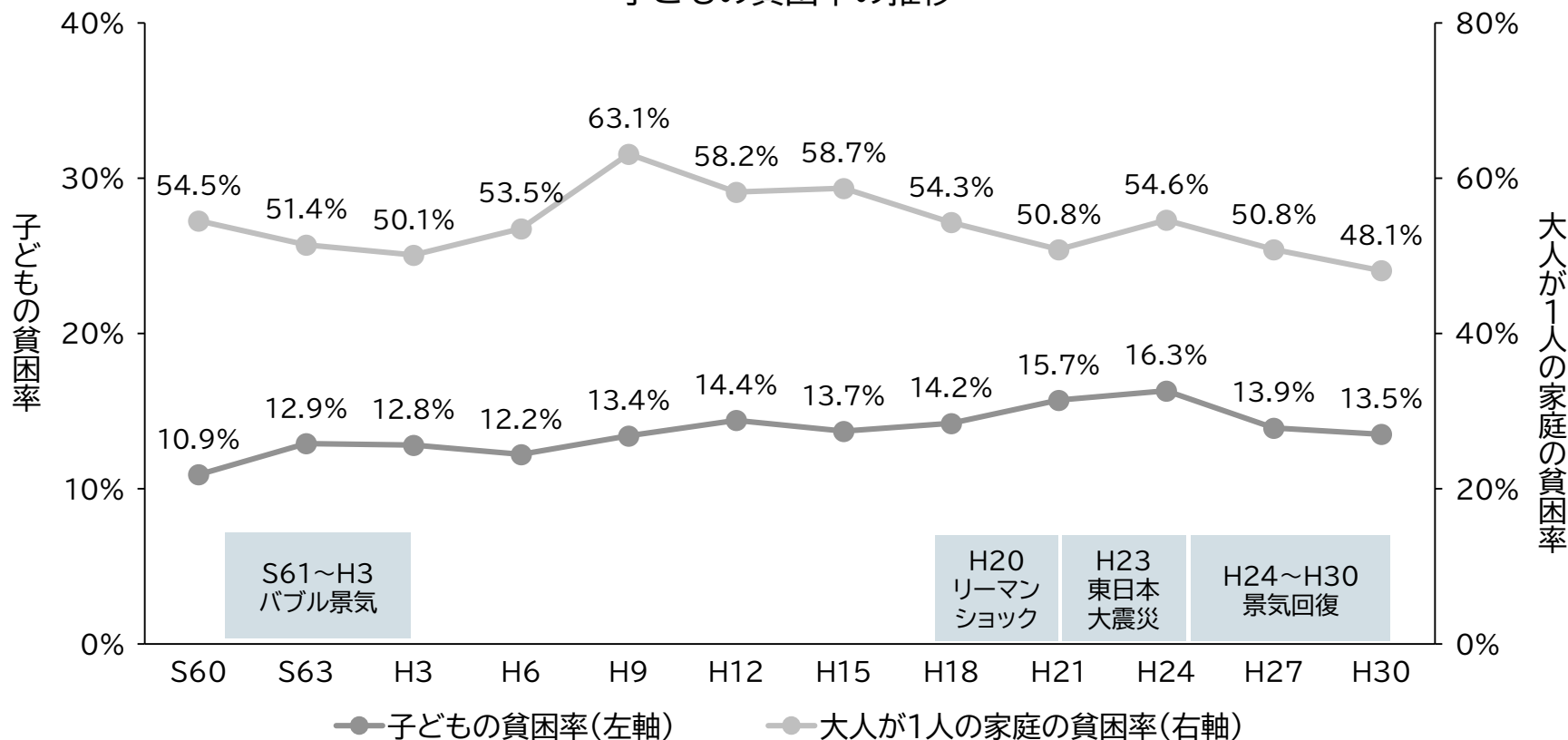


きょうだいのケアをしているが一番多く、小学生では半数近く、中学生では1/3以上を占めています

日本の子どもの貧困の状況

- 平成21年、厚生労働省が初めて**17歳以下の子どもの貧困率**を公表(調査対象平成18年:14.2%)
- 平成30年の子どもの貧困率は**13.5%**で、**約7人に1人**の子どもが**相対的貧困の状態**にある。
- 子どもがいる現役世帯で、ひとり親家庭など大人が1人の家庭の貧困率は**48.1%**と、**約2人に1人**が相対的貧困の状態にある。

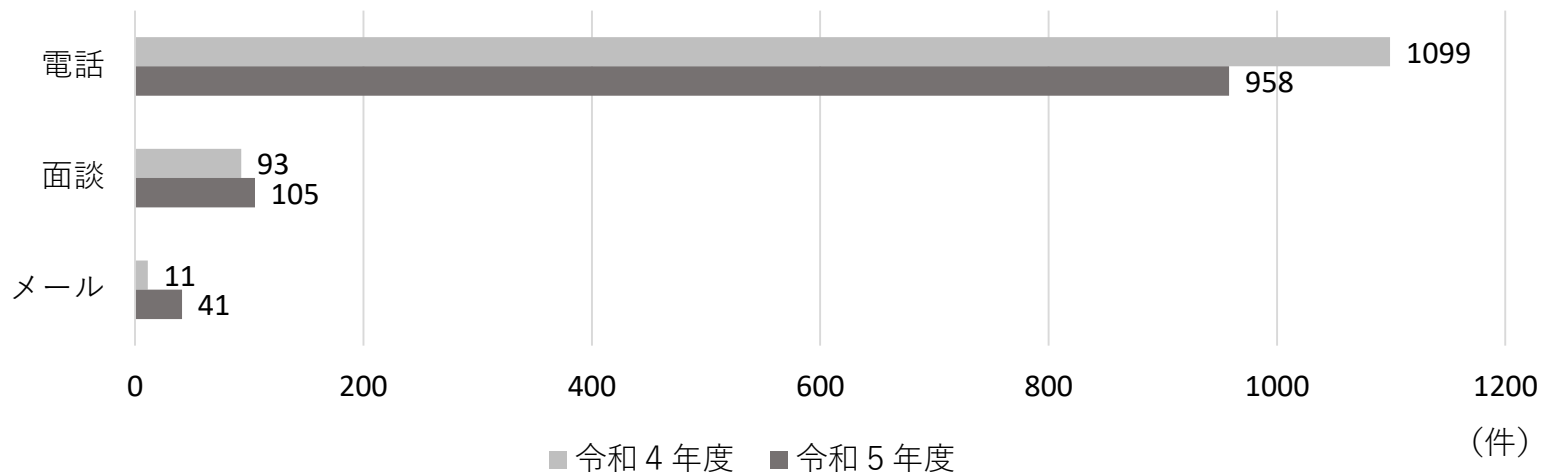
子どもの貧困率の推移



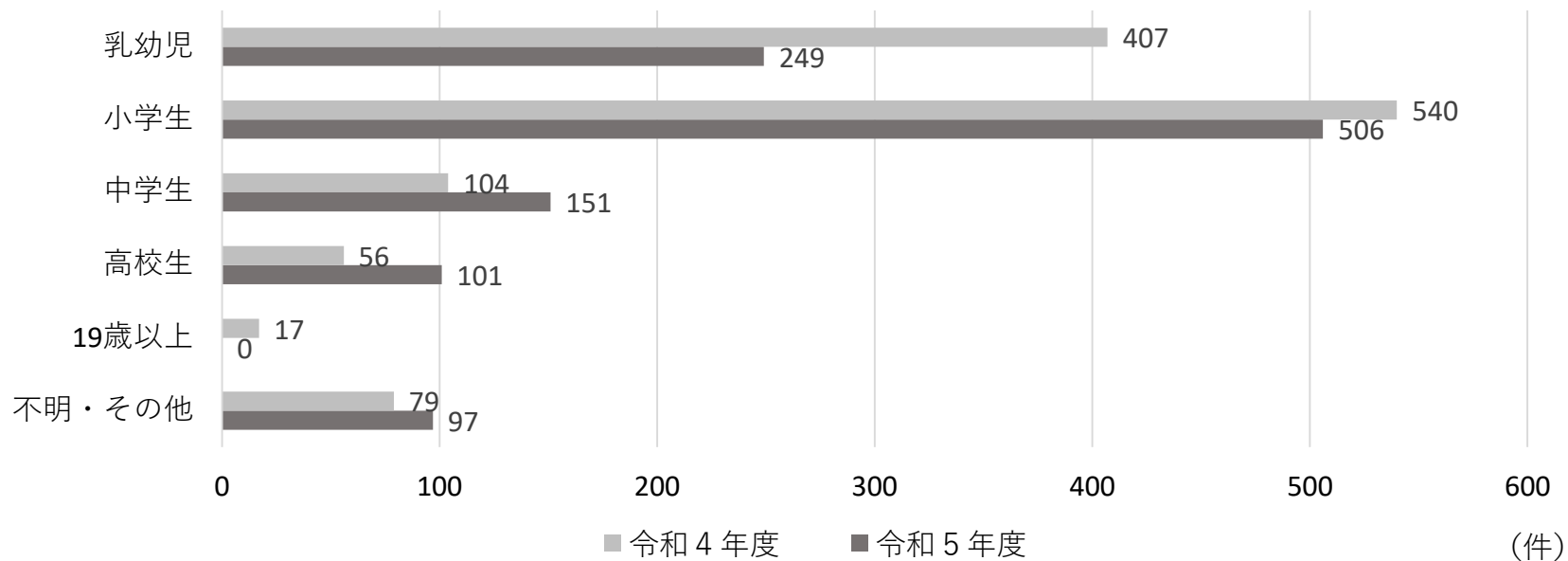
出典: 2019年国民生活基礎調査(厚生労働省)

子どもの生活状況に関する実態調査(令和3年度)において、本市では子どものいる家庭の**9.0%**が「**困窮家庭**」に該当し、**約11人に1人**の子どもが、家庭が低所得であったり、経済的な理由で体験の機会などが失われているなど、複合的な困難を抱えている。

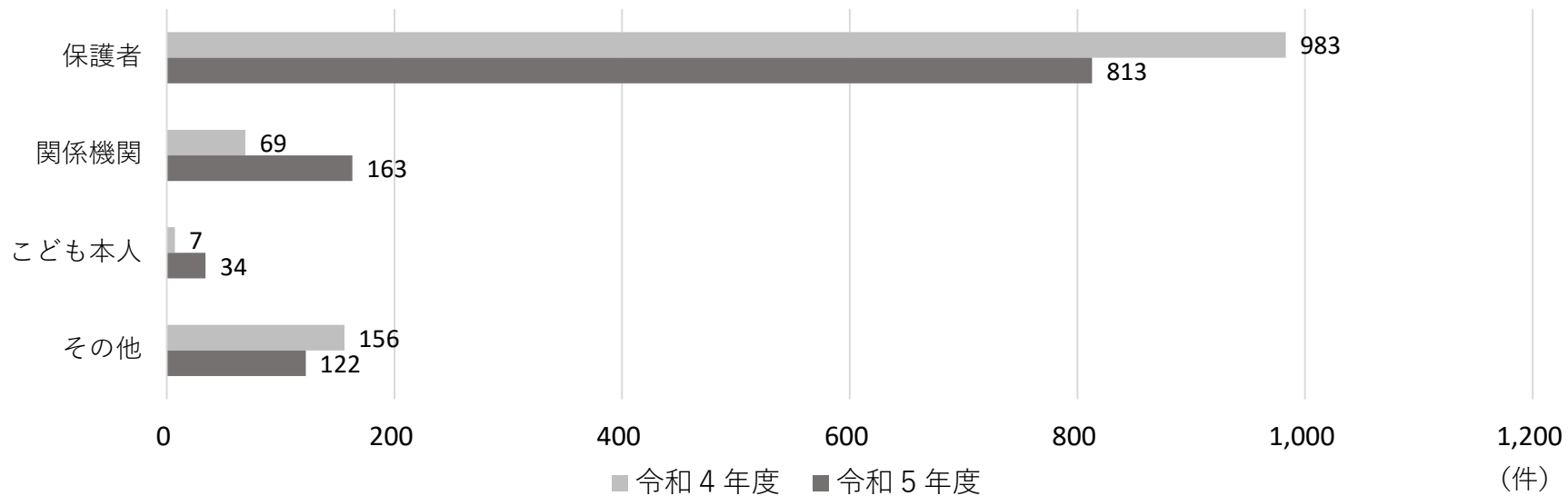
こども総合支援センター「あのえっと」相談件数



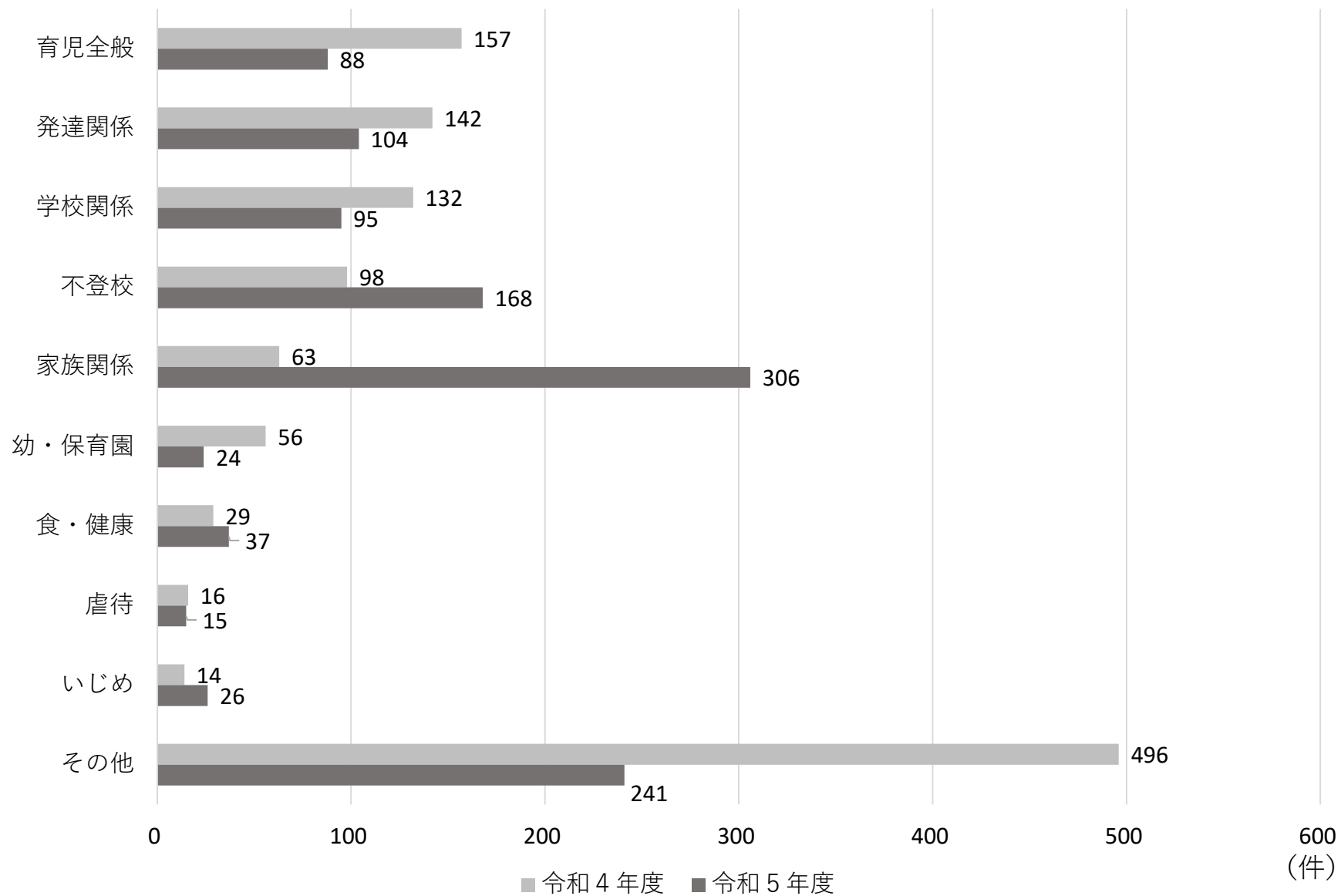
こども総合支援センター「あのえっと」相談対象者の内訳



こども総合支援センター「あのえっと」相談者の内訳



こども総合支援センター「あのえっと」相談内容



令和4年度「その他」の中には、一部「家族関係」が含まれている。